

アンゴラ経済概要（11月）

本月報は当館が報道等公開情報¹より取りまとめたものです

石油・LNG

- ・ トータル社は、第17鉱区の開発プロジェクトCLOVにつき、2014年より生産開始予定と言及（11/25 JA）。
- ・ アンゴラから中国への石油輸出割合は増加し、本年上半期は49%まで到達。昨年同時期は35%（11/13 Ex）。
- ・ Moody'sは、アンゴラの外貨準備高は石油増産を背景に450～500億ドルに達する可能性があるとして予測（11/2 Ex）。外貨準備高は、11月中旬で320億ドル程度（11/26 Ex）。

鉱物資源

- ・ ウイラ州カシंगा鉱山（Kassinga）では、年間2000万トン以上の鉄鉱石を生産予定（11/2 EX）。
- ・ ダイヤモンド売買を担うソディウム（Sodiam）社は、アンゴラのダイヤモンドのブランドを作る意図を表明（11/7 Ex）。また地質鉱山大臣は、同社を公的機関にすると発表。公的機関となった場合、政府はダイヤモンド売買に直接関与することとなる（11/9 AP）。
- ・ 1万1000カラット/月のダイヤモンド生産能力を有するルミナス社は、2011年に11万5000カラットを生産。約4300万ドルの利益（11/2 Ex）。
- ・ セメント事業にかかわるノヴァ・シマンゴル社（Nova Cimangol）は、約450億クワンザを投資し、2年以内に日産5000トンの生産能力を有する設備を建設予定（11/24 JA）。

財政・マクロ経済

- ・ アンゴラ企業のうち、2%しか製品輸出を行っておらず、またその製品は石油・ガス・ダイヤモンド関連に限られる。この状況を打破すべく、政府は、アンゴラ投資プログラム（Angola Investe）を実施し、中小企業活動の促進および輸出品目の多様化を促進する（11/1 SE）。
- ・ また同プログラムを側面支援すべく、政府は債務保証基金（o fundo nacional de garantia de credito）を設立し、すでに1億ドルが利用可能（11/6 RNA）。
- ・ 公共企業86社のうち、16社は決算報告を実施しておらず、また37社の報告は不完全であった旨財務大臣・経済大臣が発表（11/1 SE）。
- ・ 行政労働社会保障大臣は、アンゴラ人の雇用を増やすべく、労働基本法の見直し議論をまもなく開始する旨言及（10/31 JA）。
- ・ 閣僚級経済委員会のコミュニケによると、アンゴラ経済およびマクロ経済指標はポジティブな変化をしていると発表。本年第四四半期では、給与や債務等を優先的に支払う旨言及（11/24 JA）。

¹ 参考:JA(ジョルナル・デ・アンゴラ), Ex(エスパンサン), BB(ブルームバーグ), JE(ジョルナル・デ・エコノミア), オ・パイス(OP), アンゴップ(AP), SA(セマナリオ・エコノミコ), Ah(アンゴラハブ), ラジオ・ナショナル・デ・アンゴラ(RNA)

金融・銀行

- ・ アンゴラ政府は 2013 年、20 億ドルのソブリン債を追加発行予定。2012 年 8 月発行のソブリン債と同様、ロシアの銀行 VTB を通じて実施される (11/13 Ex)。
- ・ インフレ率は、10 月に 9.76%で、9 月の 9.65%より少々上がったものの、一桁を維持(11/18 EX)。
- ・ アンゴラ中央銀行は、11 月の金融政策委員会において、市中銀行における金利の参考値となる BNA 基礎利率 (Taxa BNA) を、年 10.25%のままで維持と決定。本利率は、2011 年 10 月に導入以来、本年 1 月に一度だけ下げられた(11/26 BB)。
- ・ スタンダード銀行は、ウアンボ州に支店を開設。特に企業セクターに従事する予定 (11/6 Ex)。また同銀行は資本金を 5000 万ドルから 1 億ドルまで増資し、年内にアンゴラで 20 の支店を開き (11/9 EX)、来年 1 月までに 27 支店を有する意向 (11/29 SE)。

二国間関係

- ・ ブラジル：マヌエル・ビセンテ副大統領は、在アンゴラ・ブラジル大使と二国間協力に対し議論。同大使は、両国企業間の関係を近づける必要がある旨言及 (11/1 Ex)。
- ・ 米国：米国輸出入銀行は、クレジットラインを 1 億 2000 万ドルまで拡張。米国の商品・サービスを輸入したいアンゴラ企業に対し提供される予定 (11/23 EX)。ディーゼルエンジンメーカーのクムニス (Cummins) 社は 11 月にオフィスをルアンダに開設。約 5000 万ドルを投資し、発電所を建設する予定。またあわせて、カシंगा鉱山の鉱物資源開発にも参入する意向 (11/27 JE)。
- ・ フランス：アンゴラ民間投資機関 (ANIP) は、17 日、フランスからの投資を呼び込むべく、パリで投資セミナーを開催。50 社以上の企業が参加。アンゴラには現在 2500 人のフランス人が生活し、約 70 の企業が存在 (11/20 JE)。
- ・ イギリス：教育および石油セクターでの二国間協力促進を英国外務大臣が表明 (11/15 RNA)。
- ・ ロシア：アンゴラとロシアは来年 2 月に、エネルギーと石油に関する会議を実施予定 (11/28 Ex)。ロシアと連携しつつ進めるアンゴラの衛星通信事業の開始は、2014 年まで延期予定 (11/29 Ex)。
- ・ ポルトガル：小売業のソナエ社は、5 つのスーパーマーケットを設立し、アンゴラ市場に近々参入予定 (11/28 Ex)。
- ・ デンマーク：海運企業であるモラー・マークス (Maersk) 社が運営するワフマックス (Wafmax) 船がルアンダに係留。4000 のコンテナの一部を積卸し (11/20 JE)。
- ・ インド：Neuerth グループは、1 億 5000 万ドルを投資し、鉄くずの再利用を行う工場を 2014 年に事業開始予定 (11/27 JE)。
- ・ 韓国：サムソン社は、本年第三四半期において、5000 万ドルの取引額を達成見込み (11/30 EX)。

エネルギー・水・通信

- ・ ルアンダ州における配電の改善を目的としたリハビリ及び近代化の実施をエネルギー長

官が発表。2016年までに5000MWの運営を見込む(11/2 JA)。

- ・ 政府、LNGプロジェクト関連企業は、ソヨ市の電力生産及び配電の能力向上に向け、最大8000万ドルを投資予定(11/4 JA)。
- ・ 風力発電所は、2013年より建設開始予定。100MWの電力産出を見込み、ナミベ、ルバンゴ、トンプワ市が恩恵を受ける予定(11/15 RNA)。
- ・ ドナウア・ソーラーシステム社(Donaue Solar Sistem)は、2014年までに太陽光発電機材の製造・供給等に参入の意向(11/9 EX)。
- ・ ザイレ州ムバンザ・コンゴ市で新しい発電所の導入に伴い、間もなく配電システムの改良予定(11/28 JA)。
- ・ ルアンダ州ベラス市における電力・水サービスにおいて新しい供給ラインが導入され、配給状況が12月までに改善予定(11/28 JA)。
- ・ アンゴラテレコム社労働者は、今月より導入された新給与体系を原因として、8日よりストライキを開始(11/23 EX)。インターネットが完全にストップする影響等発生。27日に通常業務に復帰(11/28 JA)。
- ・ フレイマル・グループ(Grupo Freimar)社が昨年11月に開設した飲料水工場による売り上げは、予測を下回る(11/23 EX)。

インフラ・建設・物流

- ・ ロビト港工事は完成段階。また政府は、本プロジェクトを維持するクレジットライン設定を交渉(11/9 JA)。
- ・ バーラ・ド・ダンド商業港(Barra do Dande)は、年間100万トン以上の積載能力を有する予定で、2013年から工事開始(11/30 EX)。
- ・ ベンゲラ州で、ロビト回廊にかかる国際会議を実施。投資家や技術専門家などが集結。ロビト回廊は、カツンベラ国際空港、ロビト港、ベンゲラ鉄道を繋ぐアフリカ南部の経済に重要なインフラ(11/28 Ex)。
- ・ アンゴラ航空(TAAG)は、アフリカおよびヨーロッパへの新ルート開設に向け、航空機3機(ボーイング777)を新たに注文。1機は2014年、残りの2機は2015-17年に到着予定(11/29 SE)。
- ・ クワンド・クバンゴ州カライ市、クアンガル市、ディリコ市、リブンゴ市の空港5カ所での滑走路建設に向け、政府は実現可能性の調査を開始(11/5 JA)。
- ・ ザイレ州では、2016年までに6000以上の住居が新たに建設される予定。本プロジェクト「ソヨ2」は、中国のCITIC社が担う(11/5 Ex)。
- ・ キランバ市の住居は、建設された20000戸のうち、3000戸のみが居住されている(11/16 EX)。
- ・ ウイジ州キロモッソ市(Quilomosso)では、4500戸からなる新住宅地域を2ヶ月前より建設中(11/24 JA)。
- ・ ルアンダにおける物流センター(CLOD)の1月事業開始を目的とし、スペインは40億クワンザのクレジットラインを設定(11/2 JA)。第一フェーズでは9カ所の物流配給センターを建設予定(11/20 JE)。また物流・貯蓄センターをすべての州につくる計画を商業省が発表(11/13 JA)。

- ・ 重貨物運輸会社であるファエトルス (Factors) 社は、420 万ドルを投資し、本年より様々なプロジェクトを実施。特にルアンダ、ベンゲラ、クネネ州に3つの物流センターを建設予定 (11/27 JE)。
- ・ ルアンダ鉄道 (CFL) 運営によると、同鉄道利用者の約4割は乗車費を払っておらず問題 (11/13 Ex)。
- ・ AAA社は、2015年までに、三ツ星ホテルを81件、五ツ星ホテルを20件アンゴラ全土に建設する予定 (11/2 EX)。
- ・ 長距離公共交通機関であるアンゴ・リアル社はルバンゴ州からルアンダ・ウアンボ州間でサービスを開始 (11/21 JA)。
- ・ 運輸省は32億ドルを投資し、5900kmの高速道路を建設予定 (11/26 Ex)。
- ・ クネネ州のオンドウジヴァ市 (Ondjiva) とクベライ市 (Cuvelai) 間に110kmの橋梁が開通 (11/28 JA)。ビエ州アンドウロ市 (Andulo) —ニヤレア市 (Nharea) 間の橋梁建設は近々完工 (11/5 JA)。

農業・漁業

- ・ モシコ州にて、農業キャンペーン2012/2013が開始。ルアウ市では農業振興に向けた600ヘクタールが用意され、キャンペーン中に7000トンのマンディオカ、150トンのトウモロコシ、100トンの豆を生産予定 (11/9 Ex)。
- ・ クワンザ・ノルテ州の鳥類屠畜場建設プロジェクトは、12月中に終了予定。これにより、鶏肉の輸入依存度が下がる見込み (11/6 JE)。
- ・ モシコ州では2012-13年期中において、様々な農作物の収穫量が50万トンまで達する予定 (11/16 EX)。
- ・ ベンゴ州では2012年上半期中にて、194トンの水産物が収穫された旨発表 (11/20 JA)。

その他の産業・当地企業

- ・ ANIPは、投資案件11契約を締結。総額約3億1000万クワンザ規模で、772人の新規雇用を創出予定 (11/6 AP)。
- ・ アンゴラの建設プロジェクト運営等を担うアウレコン (Aurecon) 社は、2012年の取引額は4200万ドルまで達する見込み。2011年は4000万ドルで、約200万ドル増加 (11/9 EX)。
- ・ ソコフォルト (Socoforto) グループのイニシアティブにより、2013年第一四半期よりウアンボ州で瓦を生産開始予定 (11/8 SE)。
- ・ マランジェ州では日産120トンの生産能力を有する煉瓦工場が開業。また来年には製粉工場も同州で開業予定 (11/13 AP)。
- ・ カビンダ州のフティラ (Futila) 産業特区は、来年1月より基礎インフラ建設開始予定 (11/19 JA)。
- ・ 昨年11月よりはじまった地方商業促進プログラムは、BPCにより32の小規模プロジェクトに対し120万ドル融資 (11/27 Ex)。
- ・ 当国での起業を支援するBUEは、現在まで100の支店が作られ、その内84点が営業中。政府は、2013年までに200支店を目標とする (11/30 EX)。

- ・ フォーブス紙が選ぶアフリカの富豪ベスト40のうち、ドス・サントス大統領の娘で投資家でもあるイサベル・ドス・サントスは第31位にランクイン。

地方経済情勢

- ・ クワンザ・ノルテ州：州政府は、同州での様々な社会開発プロジェクト50案件に対し、120億クワンザを準備（11/2 JA）。また同州カンバンベ市では、食用油生産の工場を設立中で、今月中に開業予定（11/8 SE）。